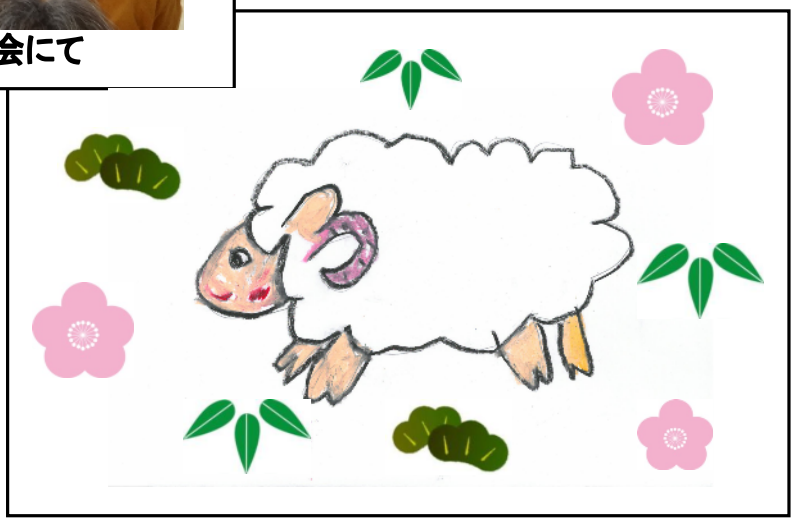
KSKS 花の会ニュース

２０１４年１２月号
no.164

編集人／ 社会福祉法人 花の会　広報委員会 連絡先／ 〒569-1042 高槻市南平台 3-29-9
TEL 072-692-2859　FAX 072-693-3603
★WEB　http://www4.ocn.ne.jp/~hana-net/index.html　★E-mail　hana-net@minos.ocn.ne.jp

今年は
いろいろご協力
ありがとう
ございます

2014年12月20日　クリスマス会にて



来年もよろしく
お願いします！

２０００年１２月１２日第三種郵便物認可　毎月（１・２・３・４・５・６・７・８の日）発行
発行人　関西障害者定期刊行物協会　大阪市天王寺区真田山町２－２　東興ビル４階　定価１００円

意思決定支援に向けて

だいぶ以前に、生野子どもの家を訪れたことがあった。壁一面に、詩が達筆で描かれていた。そこは当時、逆統合保育の志を掲げる保育園であった。いつもの如く、了解なしで紹介する。

カール　ギブランの詩

あなたの子どもは　あなたの子どもではない
かれらは人生の希望そのもの　息子であり　娘である
あなたは　かれらに愛を与えてもいいが
あなたの考えを与えてはいけない
あなたは　かれらのように　なろうとしてもいいが
かれらを　あなたのようにしようとしてはいけない
何故なら　人生は後もどりもしなければ
昨日と共に　ためらいもしないからだ
あなたは　弓であり
かれらは　それから送りだされる矢である

ノーマライゼーションが生み出した成年後見制度が揺らいでいる。時代と共に。

障がい者権利条約（第１２条）でも条文化された「意思決定支援」あるいは「支援された自己決定」が広がりつつある。私たちの当事者支援が、本人の自己選択や自己決定をどのように支援していくかで、足踏みをしている中、世界はどんどん進んでいきます。若い人たちの取り組みに期待します。

（やまだのかかし）

日中活動からの報告

花の会バザーの御参加ありがとうございました！

１１月１６日（日）秋晴れの中、花の会の一大イベント「花の会バザー」が開催されました。今回で４３回目を向かえ、当日は推定６００名を超える大勢の方に来ていただき、衣類や雑貨を中心にリサイクル品売り場は大賑わい♪で紙袋を両手に持って各売り場を回っておられるのが印象的でした。リサイクルその他を足すと 140 万円を超えることが出来ました。誠にありがとうございます。

中之島ライオンズクラブの方々との新たな出会いがありました。今回は販売ブースを設け販売のご協力も。（売上げは、花の会にご寄付いただいています）

施設実習に来ている学生との出会いです。通常は施設の日々の作業を一緒に体験学習していただくことが多いのですが、今回はバザーにも参加していただき、当日はカフェの売り子や遊びコーナーなどで頑張ってもらいました。地域の方々と繋がる場を実際に体感していただけたのは、いい勉強になったのではないかと思います。

花の会は地域に根付いた事業所として、バザーを通して花の会の活動を広めていければと思います。（第２共働舎　山口昌亮）

福祉展に参加した各班より報告！

★自主製品展示販売

11 月 29、30 日　高槻市立生涯学習センターの１階で自主製品の販売をしました。29 日はあいにくの天候で、客足がのびず心配をしましたが、天気が回復してからは一般のお客様、メンバー、ご家族が次々と来られ、花の会の製品を購入されました。

パンは両日完売し、クッキー、パウンドケーキ、おからかりんとうもたくさん売れました。また、販売中「花の会の商品おいしいよね。」や試食を食べて「これ、おいしいな。」とお褒めの言葉をもらうこともあり、花の会の自主製品を知って下さった人が少しずつ増えているのを実感し、嬉しくなりました。

（第２共働舎　出淵）

★模擬店販売

模擬店でうどんの販売を行いました。２日間合わせて３００食も売る事ができました。２日間ともピーク時にはたくさん人が並び、行列ができていたので、職員は大慌てでしたが、一緒に参加したメンバーはとても落ち着いていて、待ち時間の間に、「今日は暖かいねえ。」「いっぱい食べてね。」などの会話をして接客をしていました。（第２共働舎　菊地）

★ウォークラリーにも参加

街かど安全点検体験ウォークラリーは福祉展の２日目(11/30)に開催されました。今年もジュニアバンドを先頭に各自プラカードやのぼりを掲げ、シュプレヒコールを連呼しながら行進しました。パレード終了後は啓発活動の一環として駅前にてリーフレット配布を行い、バリアフリーの推進、障害者権利条約が効果的に実施される様に市民の皆さんへアピールしました。（第２共働舎　黒田）

ワクワク そわそわ 一泊研修旅行！

９月１１日(木)～１２日(金)

共働舎Ｄ班・たんぽぽ亭・チューリップは名古屋に行って来ました。

リニア鉄道館は、メンバー全員が新幹線の切符を発行して改札を通ったり、リニアモーターカーに乗る擬似体験をしました。もちろん展示している電車はすべて本物。近くで見る電車の大きさにみんなビックリしていました。名古屋港水族館では、水槽の中を見ることのできる場所からイルカショーを見ました。みんな目を輝かせ食い入るように見ていました。仕事やクラブ活動、行事等とまた違うメンバーの表情を見ることができ、とても楽しい２日間でした。（第４共働舎：前田）

三重コースの１日目は伊勢神宮、おかげ横丁、２日目は鳥羽水族館でした。待ちに待った旅行の日！なんと！現地に着くと雨が降っているではありませんか！傘をさしながらでしたが、ソフトクリームを食べたり、松坂牛串を食べたりとみんな御満悦でした。宴会は豪華なお食事に、カラオケを楽しみました。みんなが楽しんでいる中、お馬さんも登場し、例年よりちょっぴり盛り上がったのではないでしょうか。２日目の水族館は日本では鳥羽水族館にしかいないジュゴンを観て興奮したり、セイウチ、アシカのパフォーマンスショーを観て大喜びでした。（第２共働舎　菊地）

９月１８日（木）～１９日（金）

１Ａ班、２Ｃ班、こすもすの総勢３４名で一泊研修旅行へ出発しました。１日目、和歌山の名産品の梅「梅干館」へ行きました。工場では梅干の箱詰め作業を見学。３Ｄ梅シアターでの立体映像の観賞をしました。「梅干館」での興奮冷めやらぬうちに、白浜のシンボルの「円月島」を回る海底観光船へ乗車しました。なんとこの船、船の底がガラスになっており、海の中の世界を覗くことができ、海女さんの海中ショーなどを楽しみました。２日目、「白浜アドベンチャーワールド」では、イルカのショー、ケニア号に乗りサファリワールドを一周したりしました。（第２共働舎：大久保）

１Ｂ・２Ｄ・２Ｇで鳥取県へ１泊２日の研修旅行へ行きました。天候にも恵まれメインの砂丘を始めとし、浦富海岸遊覧船や中国雑技団ショー、砂の美術館を堪能しました。遊覧船では予想以上の揺れがあり、泣き顔で手すりにしがみつくメンバーの姿も見受けられましたが、ダイナミックな島々を間近で見ることができ、２日目はメインの鳥取砂丘！そこでは、ご当地の梨ソフトに人気が集中し皆で美味しく食べました。足場の悪い砂丘はメンバー同士手を取りながら向かいましたが、残念ながらラクダに乗ることはできませんでした。

（共働舎　島崎）

９月２５日（木）～26 日（金）

１Ｃ・２Ａ・２Ｂは和歌山に行ってきました。旅行当日は台風が近づき、旅行にいけるのか心配しましたが、みんなの日頃の行いが良いためか（？）旅行中はいっさい雨が降りませんでした。しかし、乗る予定だった「グラスボート」が欠航し、急遽行き先を「エネルギーランド」に変更しました。グラスボードに乗れず非常に残念でしたが、エネルギーランドで３Ｄシアターやパラレルワールドなどを体験し、大いに盛り上りました。メインの「アドベンチャーワールド」ではパンダやライオンを見て大興奮するメンバーやお土産やソフトクリームなどに夢中なメンバーなどそれぞれ、思い思いに楽しみました。（共働舎　渡邊朋）

地域生活からの報告

83名が集うフラワーホーム

～「すばる」増設と「かえで」開所～

フラワーホーム：吉崎　篤志

「すばる」定員７名で再スタート

これまで「すばる」は、府営住宅の離れた棟で２室を利用し、４名の男性ホームとして運営してきました。今回、新たに大阪府より、同じく府営住宅のこれも離れている一住居（３ＬＤＫ）の斡旋があり、定員７名のグループホームとして１２月１日に再スタートすることになりました。

新たに３名のメンバーが入居できることになりましたが、それに際して、これまで「ひこぼし」で運営してきた体験利用室を、「すばる」に移転することと、「ひこぼし」、「ほうれん荘」に住んでいた２名のメンバーが転居し、新メンバー３名は、「ひこぼし」に１名、「ほうれん荘」に１名、そして「すばる」に１名という形で入居することになりました。12月１日からそれぞれの生活が始まっていますが、次号でその様子をお伝えできればと思います。

女性ホーム「かえで」の開所に向けて

女性ホームの方は西冠１丁目の賃貸一戸建て住宅で２０１５年２月開所をめざし準備を進めています。定員は５名。第１７番目のホームとして、名称も「かえで」と決まりました。先日、入居する５名メンバーが決まりました。これから本人、ご家族と準備等の相談をしていきますが、みなさん元気で入居され、６か所目の女性ホームとして開所できればと考えています。

今回の一戸建てでのグループホーム開設に際しスプリンクラー整備が必要になりました。改装工事と併せて現在整備中です。工事の進展具合で２月１日の開所が難しい状況になっていますが、なるべく早く入居してもらえるよう準備を進めて行きたいと考えています。

メンバーの多様な地域生活の場の検討を

２月に「かえで」が開所すれば、ホーム数１７、定員８３名になります。支援スタッフも４０名を超えました。そして、２０１６年４月には、１９ホーム、定員９７名をめざして取り組みを進めています。このような生活の場の開設を進める一方で、メンバーが希望する地域での暮らし方（一人暮らしや自宅での生活）などの検討も今後の課題です。

余暇時間の取り組みについて

～ありのままで～

自由な時間！皆さんはどのような過ごし方をされていますか？各ホーム、メンバーによってさまざまな過ごし方があります。

ひなげしでは、夕食後の時間を利用して女子会を開催しています。いつの間にか誰からともなく「今日の女子会は？」「おやつは？」「今度の余暇活動はどこに行くの？」等、今の思いをありのままにお喋りします。自然体であり、形があるような無いような不思議な時間ですが、みんなで楽しんでいます。

休日を利用しての余暇活動では、ぽぱいのメンバーさん達と小集団になって出かけ、バーベキュー大会やサンタマリア号の乗船等をしました。ホームでの接点はなかったチームがありのままの姿で交流し楽しみました。

メンバーにとって、自己主張の出来る場所のひとつがホームであり、一緒にいる仲間もいます。今後も楽しい余暇時間に花を咲かせ、取り組んでいけたらなぁ～と思っています。

（ひなげし世話人　津田孝子）

友花会活動恒例　秋の一泊旅行報告！

友花会は今年も９月14～15日、一泊旅行に行って来ました。

昔は夏の海水浴が主流でしたが、皆さんも今や 30 代後半～上は還暦近くになり、昨年までは温泉旅行が主になっていました。今年は少し変わった所へと皆で考えた結果、富田林「ワールド牧場」のビレッジに宿泊、山小屋気分を楽しみました。実は１日目に今話題の阿倍野ハルカスに行く予定でしたが、あまりの人出で入場出来なかったため早めに到着。しかし、露天風呂に入って、バーベキューで満腹。その後花火も楽しみ、カラオケ大会で大盛り上がり！翌日は動物達とふれあい、釣りも楽しめて盛り沢山の２日間を過せました。

宿泊料も低料金で、ホテルや旅館とは違った雰囲気が大好評でした。予定の変更もありましたが、そこがまた旅の醍醐味？(笑)大満足の旅行となりました。皆さんの楽しい思い出写真をお届けします。

（友花会　陰地佐知子）

レスパイトの活動の様子

今年のカレンダーがついに最後の一枚となり、今年も残りわずかです。

街はクリスマス一色ですね。イルミネーションがまばゆく感じ、夜の送迎を楽しませてくれ車内の会話も一層盛り上がってます。

早いもので、今年も暮れようとしていますが皆様どんな１年でしたでしょうか？

レスパイトには、毎日「ただいま～」と第二の家のように帰ってきて、その日の出来事や好きな芸能人の話をして盛り上がったり、絵を書いて壁を皆の絵でいっぱいにしています。

最近のレスパイトのブームはまだまだ AKB４８のようですね。先日も「恋するフォーチュンクッキー」を流すと、子どもも大人も口ずさんで手をたたいてリズムをとり、笑顔で踊って、毎日のように賑やかでしたよ。（笑）

休日は、コスモス畑を見に出かけたり、どんぐり拾いをして遊んだり、おやつにはスイートポテト作りにも挑戦したり、季節を感じ楽しむことを大切にしています。

もうすぐクリスマスですので、今年もツリーの準備をして、職員一同ワクワクしながら利用者さんの帰りを待っています。（レスパイト　池之上静香）

就労支援からの報告　就労メンバーのその後・・・

Ｉさんが2014年９月11日に弊社に面接にいらっしゃいました。その時私はＩさんをフォルツァの指導員の方と思い、名刺を差し出し挨拶をしたところ、Ｙさん（フォルツァスタッフ）がＩさんは本人（応募者）とおっしゃったので、即採用する事にしました。

仕事振りについては、最初から十分こなせると思い見てましたが、なかなか期待している数字に届かず、Ｉさんが仕事を開始する前に別の社員に前もって処理させていましたが、Ｙさんの熱心なアドバイスとＩさん本人の努力で、今は期待したとおりの仕事量をこなせるようになりました。

また、Ｉさんの素晴らしいところは、大きな声での挨拶と、ミスした時の『すみません』という素直な点です。

これからもＩさんらしく、長く勤めてもらいたいと考えております。

この文章は、株式会社ジェーシー・コムサ茨木工場工場長岡山様からいただきました。工場長の岡山様は、Ｉさんを障がい者としてではなく他の従業員の方と同様に接してくださいます。その考えが工場内に浸透しており、いつも温かい雰囲気で安心できる職場です。「家族に自分の働いている姿を見せたい」と一般就職を目指しておられたＩさんを面接日当日に即採用してくださいました。

Ｉさんの仕事は、食品工場内での番重（食品を入れるプラスティック容器）の下処理です。１日300枚以上下処理します。番重の食品汚れを確認し、ヘラで落とし、お湯を入れるという作業です。限られた時間内に目標数の処理をおこなう為、時間管理も必要な作業です。工場長のお言葉から、Ｉさんがとても努力された事や今は会社の戦力になっている事が分かります。Ｉさん自身も「楽しくやっています。腰と足が痛むけれど、お風呂につかって痛みを和らげています。」「会社の人全員が頑張っていて、特に工場長はすごい人です。だから私も頑張りたいと思います。」とおっしゃられ、私たち支援者もその言葉を聞いてとても嬉しく思っています。

フォルツァでのＩさんはいつもにこやかで大きな声で挨拶されていました。また、企業が採用したい人柄としてよくあげる「素直」「まじめ」を訓練中に発揮していました。そのＩさんのお人柄をご理解いただき、会社の一員として迎えてくださったと考えています。

もうお一人はＴさんです。介護施設での清掃作業で勤続１年が経過されました。Ｔさんの仕事は、施設の顔と言っても過言ではない玄関、受付のほか、会議室、食堂、来客用トイレ、職員用トイレ、更衣室の清掃、階段の清掃作業です。毎日４時間かけて清掃をおこないます。来客用トイレはお客様が使用されている時の配慮が必要になります。会議室は使用中が多く、手順書通りに清掃ができない事が多くあります。階段は夏はクーラーがきかず暑くなるので途中に休憩をもらえるよう相談しました。また冬は暖房がきかないため寒くなり、制服の上にフリースを着させていただきました。

Ｔさんは、手順書があればしっかり作業ができる方で、実習初日から自宅で手順書を作成し、毎日更新されました。各場所を掃除する時間帯、それぞれの場所で使用する雑巾の色や柄、洗剤の種類、ほうきをかける順番までとても細かく作成されていました。当初は会議室が使用中に、手順書通りに清掃ができない事でパニックになりましたが、最近では手順書から清掃場所を入れ替え臨機応変に対応しています。

施設長からは「全く問題がなく、安心して清掃作業を任せられる」と信頼されています。

毎日同じ場所を同じように清掃できるのは、誰にでもできることではありません。Ｔさんだからこそできることなのです。

一般企業への就職が決まりフォルツァを卒業して、企業で活躍する方は共通点があると思います。それはみなさん自分の障がいと向き合い、受け入れていることです。得意な事は仕事にいかせるようにし、苦手な事は課題として克服に取り組んだ結果、採用になっていると思います。

Ｉさん、Ｔさんに続いて、たくさんのメンバーさんが企業で活躍できるよう、私たちも一緒に頑張ります。

（フォルツァ　嶋田陽子）

研修報告

11月25日（月）～28（金）、千葉の幕張の障がい者職業総合センターで行われた就業支援担当者研修に行きました。初めてづくしの研修は、緊張の連続でした。

講堂はとても広く、見る方見る方がとてもベテランに見えました。

初日の基礎講義では、事前に提出した質問に沿っての講義がありました。質問の回答を詳しく知ることが出来、周りがどのような質問をされているかを知ることが出来て、参考になりました。

レポート課題があったグループワークでは、連携の工夫、今後自分が取り組んでみたい連携機関等について話し合いました。グループは類似した課題を持っている人、人口・地域性が近しい市の方を集めた班に設定されていました。就労年数や年齢は様々。私のグループでは、事例を用いながら、共通の悩みを共感したり、課題への工夫について意見を出し合いました。

この様な意見交換や演習等、一緒に何かをすると、一体感が生まれることを実感しました。同じ意見だと、自分の意見に自信が持て、異なる意見だと新しい考えを知る事が出来、参考になりました。また、研修中、雑談が大事との講師の言葉が印象的でした。実際、交流会後、親近感が湧き、その後の講義での意見交換がしやすかったように思いました。

相手に安心感を与える、実りある雑談を目指し、日々、精進したいと思っています。

（就業・生活支援センター　田中保千代）

就労継続B型　ワークたんぽぽのお仕事をウオッチング

ワークたんぽぽは、就労継続支援Ｂ型で、メンバー１３名（定員１６名）・ワーカー３名の事業所です。場所は、芥川小学校の南門近くにあります。

ワークたんぽぽの生産活動は、『おからかりんとう』の製造販売、ポスティング、手作り石鹸製造販売、軽作業等です。

おからかりんとうの作業は、季節によって、揚げる回数は変わってきます。月２～６回製造し、１回の作業で２００袋程製造できます。作業は分担していて、午前中に揚げて、午後から袋詰め作業です。

石鹸製造は、元祖花の会的な作業です。廃油とごはんと苛性ソーダを混ぜ、プルンプルンな石鹸ができます。名づけて『プリン石けん』十数年前は、年間１００万円の売上目標を掲げるほどの作業でしたが、現在は片手間にやる程度になっています。全盛期は、家庭用の油やレストラン等からもらった油で製造していましたが、現在は『おからかりんとう』の製造時に出た廃油を使っています。

『ポスティング』は、芥川町周辺１４００軒程に広告チラシを歩いて配っています。毎週火・金曜日の午前中に配布します。雨の日も風の日も配布ですが、ちょうど良い運動になっています。

春と秋に日吉台の公園４箇所の清掃作業を行っています。つい最近も公園の落ち葉拾いをしてきました。

この他にも様々な仕事（生産活動）に取り組んでいます。

毎日メンバー・ワーカー共に頑張っていますが、月のメンバーの工賃は、９，０００円程です。花の会の生活介護の工賃は月１３，０００円です。早く追いつき、将来は、月３０，０００円を目標に、これからもメンバー・ワーカー力を合わせて頑張っていきます！ご協力お願いします。

（ワークたんぽぽ　施設長　佐藤智昭）

法人からの報告　全職員中間総括会議　報告

10 月 18 日（土）９時～１２時半に高槻市立現代劇場において、職員 94 名・理事等９名の参加のもと実施した。

例年、職員総勢が集い、半期の報告を行っている。法人設立から 15 年を経過し、職員の数も登録ヘルパーを加えると 200 名近くなる。６月の総会、そして、今回の会議と年に２回の顔を合わせる機会となる。

まず、理事長からの挨拶、そして各事業の管理者等からの報告へと続く。

10 分程度の時間枠の中で、（13 部署より）事業の説明、目標設定に対しての現状・課題等の発言がされた。各々の所属事業以外については、「どのような事をしているのか」充分把握できていない中で、「なるほど！」と思える部分もあっただろうか。また、興味を惹かれる「事業」に出会え、「こんな事業所でメンバーとの関わりを持ちたい」と思った職員もいたかもしれない。

花の会はメンバーが、いきいきと活動できる場を地域に・・・と事業を展開してきた。すべての事業が上手く運営できているということでもない。各所での努力は勿論必須ではあるが、花の会の職員の一員としてみんなで共に活動することを再確認したい。共通の課題として語られる、支援者の人材の確保・育成という大きな壁はある。しかし、まずは今、共に活動する人たちとの関係性を、しっかりと築いていく事が大切ではないだろうか。そして、ひとつひとつ丁寧に取組んでいく事を考えたい。

理事長からは、事業種別により職員の働き方も様々であり、整合性が必要、また、協力して支えるシステムをつくり、「支援・活気　ナンバーワンを目指そう」との力強い（？）言葉もあった。

そして、これまでの「作業所運動」の限界（施設化）から如何に脱却していくのか、自立生活とは何なのか、地域生活支援をどう展開していくのか、共に考え、「施設」を取っ払って、地域で・・・という構想を中期計画に盛り込みたいとの思いが伝えられた。

最後に理事のひとりから挨拶をいただく。「花の会」も大きくなってきて、こうした場で報告をしなくてはいけないのだとの感想をもった。例年同じ様な報告も聞かれ、別の視点があっても良いのでは・・・とも。

作業と支援を切り離すのではなく、巻き込みながら、その人なりの生活力をつけていって欲しい等・・・明るく・元気に・正直に・仲良く・・・との言葉でしめられた。

今後は、法人 20 年に向けステップアップ。当事者性・運動性・開拓性を踏まえ、目標設定をしていくこととなる。

「支援」を超える！　－正職員研修開催－

今年度初めての試みで、午後１時半から「正職員研修」という時間をもった。

参加者は４３名。各職場（現場）の中枢を担っていくために何が必要なのかを問い直し、各所の連携を図ることを目的として実施し、６つのグループ（勤務年数）に分かれてワーキングを行った。

テーマは「理念の実現と職員の役割」についての話し合い。理事長への質問等もあがり、それぞれの立場（勤続 20 年超～1 年未満）からのトークが繰り広げられ、各グループから、話し合った内容の報告を受ける。

壁にぶつかる事もあるが、打ち破っていきながら、プロになっていく。自らの成長を見つけていくことが、やりがいに結びつくのでは・・・との司会者の経験談からのまとめで終了した。　（島村　恵津子）

障がい児・者の支援を考える（地域貢献事業）

どなたでも参加できます

鯨岡峻氏　講演会

～目に見えない心と心のふれあいをエピソードに綴る～

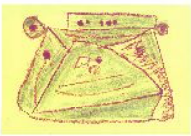
一人ひとりのこどもが、周囲の人たちと関わり合いながら、共に生きている様子を「エピソード」として描き出す。目に見えない“心と心を繋ぐ営み”として、その記録から見えてくるものとは・・・。

“心の育ち”に目を向け「関係発達論」を提唱されている、鯨岡峻氏の講演会です。

日　時：２０１５年2月１４日（土）１０：００～１２：１５（開場　９：３０～）

会　場：高槻現代劇場　市民会館　４０２号室　**参加費：**無料

＊お申し込み・お問い合わせは、共働舎花の会まで（TEL：072-692-2859）



～御協力に感謝を込めて～

花の会オリジナルカレンダー販売報告

今年も昨年同様、メンバーの「花の会オリジナルカレンダー」を作成、販売しました。

昨年のカレンダーについての皆さんからのご意見・ご感想の中に多かった「書き込みやすいものを」・「書きやすい素材がいい」を取り入れ、また「メンバーの作品をより多く掲載できるように」というコンセプトのもと、デザインなどの変更をしました。そして、メンバー工賃アップのため、作成部数も前年より増加して１３００部としました。

メンバーと一緒に学校や福祉事業所などを訪問し販売活動を行い、店舗での販売をお願いしたり、メンバーのご家族にも知り合いの方などにお声かけをいただき、ご協力いただきました。最後はカレンダー持参で地域へ販売に出かけました。訪問先では「絵きれいやね」や「頑張ってるね」など声をかけていただくこともあり、地域とのつながりを実感できるよい機会となりました。

いろいろな方にご協力していただいたおかげで、在庫も残り少なくなりました。皆様どうもありがとうございました。これからメンバーと共にさらによいものを作っていきたいと思います。来年も「花の会オリジナルカレンダー」をよろしくお願いします！！（共働舎　渡邊朋幸）

～花の会より～ 成年後見制度学習会を開催しました

２０１４年９月２１日、成年後見制度の学習会を行ないました。（同じ内容で１０月１５日（水）にも開催しました）今回は委員会の中で今年のテーマと位置付ける「親族後見」をメインテーマとし、成年後見制度について前理事の長澤氏に話をいただきました。

冒頭、成年後見制度の概要、種類、職務、申立の流れを確認。基礎から話をしてほしいと要望に答える形となりました。そしてなぜ親族後見なのか。「子の意思、思い、家族の思いを成年後見人に引きつぐとしても、親が居なくなってからでは難しくなる。そのような場合に備えて、まず家族（ここではまず「親」）が後見人となり、その業務を知り、次の後見人につなげる」提案。アンケートには「成年後見制度の必要性を感じた、制度の早期利用を検討したい」等、制度利用に向けた意見や、「法人に後見業務が出来ないのか」等、第三者に後見業務を託す不安も寄せられました。

次回の学習会は３月を予定しています。「実際、親族後見をされている方」をお招きし、具体的な話をしていただく予定です。日程、内容が決まりましたらご案内いたします。ご意見、ご提案等ありましたら、当委員会にお知らせください。

（成年後見制度利用検討委員：平田）

大好評　★　日中活動見学会

毎年恒例の活動見学が２０１４年１０月３０日（木）１１月１日（土）に行われました。花の会の「日中活動懇話会」で、日頃のメンバーの様子を見る機会があれば嬉しいというご意見を頂いてはじまった見学日の設定は今年で３年目になります。昨年に、土曜日の活動も見てみたいというご意見があり、今年は平日と土曜日に設定しました。両日で４０名以上のご家族が参加されています。やはり、今年は土曜日に参加されるご家族が多かったようです。土曜日午後のクラブ活動では、スポーツ、ダンス、音楽、美術、書道、鉄道、料理、パソコンなど多彩な活動に没頭するメンバーの表情に、家族と一緒にいる時とは違った一面が覗けたのではないでしょうか。今年もご感想をアンケートで伺いました。紙面の関係上、全てを掲載できませんが、一部、紹介したいと思います。

- 以前からクラブ活動を見てみたかったので平日だけではなく土曜日があったのはとてもよかったと思います。他のメンバーの様子が見れたのもよかったです。
- 息子の長所を再発見して嬉しく思いました。
- 次年度のクラブを選択する際の参考になりました。また見てみたいです。
- 花の会に入ってはじめて仕事ぶりを見ました。ちゃんと仕事をしていたので感動しました。
- 元気に陽気に仕事をしている姿は微笑ましく思いました。

連絡ノートだけではわかりにくい実際の活動を見る機会を、どのご家族も有意義に感じて下さったようです。メンバーは少し緊張！？するかもしれませんが、来年も是非ご参加下さい。

（花の会事務長　牛嶌亮）

～みんなの会より～ 障大連セミナーに行ってきました！

１２月１４日（日）障大連セミナーが大阪市市民交流センターすみよし南で行なわれました。

いっぱいの人がいましたが、その中には知っている人もたくさんいました。グループホームのことについてなど、講義がありましたが、少し話は難しかったです。

午後からは分科会でピープルファーストの仲間が体験を基にして、恋愛と結婚について語ってくれました。今、お付き合いをしているカップルが話をしてくれて、そのカップルは同じ作業所に通っていて、一緒に作業所に行ったり、帰ったりしているそうです。質問でワーカーに反対されていないのか聞いたところ、ワーカーも応援をしてくれていると話していました。いずれは結婚して、一緒に暮らしたいと言っていました。

もう１つ、実際に結婚をしているカップルの話を聞きました。結婚した当初は自分達でなんとかしようという気持ちが強すぎて、上手くいかず喧嘩することも多かったですが、ワーカーに相談しヘルパーに来てもらったりするようになって、気分が楽になったという話をしていました。結婚をした２人を見てすごく幸せそうでした。印象に残ったのは「誰でも結婚できますよ」と伝えていた、彼女の一言です。

そのあとはたくさんのゲームをして楽しめました。次回はもっとたくさんの人に参加してもらいたいと思います。（みんなの会　代表　篠原芽久美）

～家族会より～ ふれあい広場に参加しました！

１０月１９日、朝は幾分肌寒い気温でしたが、期待通りのお天気に恵まれ開店１０時前から、多くのお客様が来られていました。

人気のスーパーボールすくいは、小さなお子様を連れたお母様に開店前に「いいですか？」と早速声がかかり、順調なすべり出しとなりました。

お菓子引きに至っては、１００円のわりに中身をちょっと頑張り、目玉商品にしたつもりだったので、これも当たり、完売となりました。ただ、せっかくなのでもう少し工夫して、魅力あるゲームにすれば良かったかな・・・

そして、今年は高槻まつりに出店出来ず、家族会としての利益が無く、ここで少しでも稼ごうとちょっと欲をだし、フランクフルトの仕込みの量を増やしました。競合店もあり、売れ行きが怪しくなったりしたのですが、そこは花の会家族会の会員パワー！そこそこに売り上げました。皆様のお力に感謝した次第です。（家族会　阿部）

～後援会より～ 映画上映会の御案内

日時　３月３日（火）
　①　１０：００～１１：３５
　②　１３：００～１４：３５
　③　１５：００～１６：３５

前売り協力券
　一般・シニア　７００円
　障がい者・付添　５００円
　学生　５００円

当日協力券
　一般・シニア　９００円
　他は前売り券と同額

後援　高槻市教育委員会・高槻市社会福祉協議会
主催　花の会後援会
お問合せTEL　０７２－６９２－２８５９
共働舎花の会　高槻市南平台３丁目２９－９

皆様の御来場を
心よりお待ちしています

後援会から新築グループホーム建設への協力のお願い

法人花の会は、任意団体の花の会からの要請を受け、来年度グループホームの新築に着手する計画を進めています。

花の会に初めてグループホームができたのは１７年前、現在１７のホームに８３人のメンバーが暮しています。府営住宅や賃貸の家屋を利用していますが、１７年の経過と共にホームで暮らす人たちも高齢期を迎える人もあり、身体の状況も不自由さが増してきて共同住宅の５階の暮らしは日常的に困難になってきた人たちがいます。グループホームでの暮らしが続く限りこの問題はこれから将来に向けての大きな課題です。

また、消防法の改正でグループホームにスプリンクラーの設置基準が強化され、新たなホームには市からの設置が義務付けられました。設置の費用はとにかくとして、家主の承諾が得られない等の問題があります。

そこで、バリアフリーでスプリンクラーの設置にもビクともしない頑丈なグループホームの新設の計画が持ち上がりました。

ホームで暮らすメンバーの中には両親を亡くした人たちも数人いますが、メンバーの２４時間、３６５日の暮らしを支援していくためには、昼間に通う施設だけではなく、グループホームで安全な普通の暮らしができ、地域の中で暮らし続けることが大切です。

新しくできるグループホームには、障がい者の「地域生活支援センター」としての役割も併せ持つ計画です。

大きな意気込みを持って取り組む法人の新設のグループホームの計画に、花の会後援会として資金援助を行って行きます。是非、会員外の皆様にもご協力いただきます様、お願い申し上げます。

（後援会役員会）

活　動　報　告

	花の会		法人		日中活動		地域生活		就労・相談	
9	1(月) 2(火) 9(火) 21(日)	成年後見制度WG 将来構想検討委員会 役員会 代146回定例会 成年後見制度学習会	5(金)	事務局会議	2(火) 5(金) 11～12 18～19 25～26 30(火)	避難訓練 メンバー給与日 一泊研修旅行 名古屋・三重 和歌山①・鳥取 和歌山② 第2共働舎実地指導	14～15 18(木) 28(日)	友花会１泊研修旅行 障大連世話人研修会 友花会(見山ハイク)	1～11 4(土) 5(日) 18(木) 25(木)	ガイヘル研修 雇用問題懇話会 摂津市面接会 就労ネット 雇用支援講演会 高槻カエルの会 人権研修
10	15(水) 20(月) 21(火) 23(木)	成年後見制度学習会 成年後見制度WG 成年後見制度 利用検討委員会 日中活動運営懇話会	3(金) 18(土) 19(日)	事務局会議 中間総括会議 (役員研修) 正職員研修 理事会	3(金) 18(土) 29(水)	メンバー給与日 中間総括会議 第4共働舎実地指導	1(水) 16(木) 18(土)	事業所連絡会GH部会 障大連世話人研修会 中間総括会議	2(木) 11(土) 14(火) 16(木) 18(土) 30(木)	マイドーム面接会 就職説明会 事業所連絡会 就労ネット 中間総括会議 感染症予防研修
11	16(日) 18(火)	第43回花の会バザー 将来構想検討委員会	7(金) 17(月) 30(日)	事務局会議 理事会・評議員会 理事会	5(水) 16(日) 17(月) 29～30	メンバー給与日 第43回花の会バザー 代休 福祉展	9(日) 16(日) 29(土) 30(日)	友花会(科学技術館) 第43回花の会バザー 防災研修会 友花会 (京都東山散策)	13(木) 19(水) 21(金) 27(木) 28(金)	ﾌｫﾙﾂｧ　支援会議 ﾌｫﾙﾂｧ　支援会議 茨木合同面接会 対市交渉 高槻カエルの会
12	8(月) 12(木) 14(日)	成年後見制度 利用検討委員会 日中活動運営懇話会 第147回定例会	4(木) 5(金) 14(日)	事務局打合せ会 事務局会議 理事会	2(火) 5(金) 15(月) 20(土) 27(土) 28～	避難訓練 メンバー給与日 ﾒﾝﾊﾞｰﾎﾞｰﾅｽ支給日 クリスマス会 大掃除・忘年会 冬休み	1(月) 2(火) 14(日) 18(水) 20(土) 23(日) 28～	すばる増設住居開所 事業所連絡会GH部会 第52回ホーム定例会 友花会(大阪城公園) かえで改築工事着工 友花会忘年会 ホーム余暇活動 冬休み	1～10 11(木) 18(木) 22(月) 25(木) 26(金) 27～	専門学校実習生受入 ﾌｫﾙﾂｧ　内部研修 就労ネット 同行援護指定時研修 高槻カエルの会 ﾌｫﾙﾂｧ　忘年会 冬休み

活　動　予　定

	花の会		法人		日中活動		地域生活		就労・相談	
1	13(火) 20(火) 27(火)	作品展応募締切 将来構想検討委員会 ホーム運営懇話会	9(金) 未定	事務局会議 役員交流会	5(月)	仕事始め メンバー給与日	5(月) 25(日)	仕事始め 友花会活動(予定)	5(月) 15(木) 16～17 22(木) 29(木)	仕事始め ﾌｫﾙﾂｧ　内部研修 合宿研修 高槻カエルの会 運営協議会
2			6(金) 14(土)	事務局会議 法人　地域貢献講演会(鯨岡氏　講演会)	5(木)	メンバー給与日	1(日) 8(日) 11(水) 22(日)	かえで開所予定 友花会活動(予定) ホーム余暇活動 友花会活動(予定)	19(木) 26(木)	就労ネット 高槻カエルの会
3	3(火) 15(日)	後援会・映画会 生涯学習センター 第148回定例会	6(金) 8(日)	事務局会議 理事会・評議員会 (予定)	5(木) 28(土) 31(火)	メンバー給与日 総括会議 方針会議	8(日) 22(日) 下旬	友花会活動(予定) 友花会活動(予定) 第 53 回ホーム定例会 総括・方針会議	19(木) 26(木) 未定	就労ネット 高槻カエルの会 ガイヘル研修

編　集　後　記

毎日寒い日が続きますね。今冬は、１２月に入ったとたんインフルエンザが急増していると聞きました。我が家には受験生がいるので何かと気を使ってしまいます。共働舎では、今年新しい印刷機を導入し、毎号カラーで花の会ニュースをお届けする事ができました。リニューアルされた花の会ニュースのご意見・ご感想お待ちしております！

共働舎花の会　管家雅代

「公益信託　近藤きよ子記念福祉基金」助成金により取得した印刷機を使用して印刷された出版物です

２０００年１２月１２日第三種郵便物認可　毎月（１・２・３・４・５・６・７・８の日）発行
発行人　関西障害者定期刊行物協会　大阪市天王寺区真田山町２・２　東興ビル４階　定価１００円